

## 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和5年11月27日（月曜日）		開会	9:58		会議場所		別海町議会 委員会室4	
				閉会	12:16					
委員の出欠		4番	貞宗 拓雄	出席	5番	伊勢 徹	出席	7番	横田 保江	出席
		11番	今西 和雄	出席	12番	松原 政勝	出席			
出席説明員	産業 振興部	産業振興部長		農政課長		商工観光課長		水産みどり課長		
		佐々木栄典	出席	皆川 学	出席	田畑 直樹	出席	小野 武史	出席	
		商工観光課主幹		農政課主査		農政課主査		農政課主査		
		武田 妙子	欠席	金澤 亮太	欠席	西郷 博之	出席	山下 真弘	欠席	
		水産みどり課主査		水産みどり課主査		商工観光課主査				
		古里 達也	欠席	岩光 信幸	出席	松本 芳樹	欠席			
	建設 水道部	建設水道部長		建設水道部次長		管理課長		事業課長		
		伊藤 一成	出席	外石 昭博	出席	松田 勝広	出席	佐竹 和仁	欠席	
		上下水道課長		上下水道課技術長		建築住宅課主幹		事業課主幹		
		千葉 宏	出席	袴田 充輝	出席	篠田 敬介	欠席	廣島 静治	欠席	
		事業課主幹		上下水道課主幹		管理課主査		管理課主査		
		前道 陽司	欠席	福原 仁史	出席	木村 洋平	欠席	植松 拓也	出席	
		建築住宅課主査		建築住宅課主査		事業課主査		上下水道課主査		
		大西 廣和	欠席	伊井 崇史	欠席	板垣 正博	欠席	池田 友和	出席	
農業 委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主査					
	川畑 智明	欠席	大山 晋作	欠席	志度 正勝	欠席				
委員外の出席							合計	0名		
事務局職員		局長	干場 富夫				合計	1名		
傍聴者数		議員	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

# 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

## 会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 11番 今西	9:58 開会
	出席委員5名、会期1日 挨拶 【建設水道部所管事務調査】
建設水道部長 伊藤	挨拶及び概要説明
委員長 11番 今西	議事1 所管事務調査について
管理課長 松田	(1)除雪について ・資料により説明。 町有車両12台、民有車両26業者と契約済。 除雪業務量は、農道を含めた町道が709路線、1,025km、生乳搬出路57戸、要保護世帯73戸、公共施設等170箇所。 除雪車両については、町有民有合わせて、グレーダー5台、除雪トラック12台、除雪ドーザー57台、ロータリー除雪車6台の80台体制となっている。 このほかに、排雪用としてダンプトラック10台と契約を締結している。 除雪作業の注意事項等については、11月の広報及びホームページに掲載しているほか、12月中旬に新聞折り込みチラシで、再度、注意喚起や協力要請などについて周知する予定。 また、来月開催予定の12月議会において、今後の除雪業務に備えて除雪業務委託料で6,000万円の増額補正を要求している。
委員長 11番 今西	質疑
委員 5番 貞宗	・町道除雪している時に、入り口については、除雪してほしい。 ということは、受け持った業者はやるんだけど、町道のトラックで除雪する時には置きっ放し。 それを改善してあげないと、重機で雪を置いて行かれるとどうしようもない。 民間で受けてる方はわかっているけど、町有車が入ってくるやつは押しっぱなしでいってしまうという意見が多かったので、伝えておく。 それと、地域めぐり懇談会の時に、駅前の公住だと思うが、幅広く開けていただきたいという意見が出た。 町として、施設に対してのルールはあると思うが、町民から見ればやっぱりもうちょっと広くやってほしいという要望あるので、その公住の除雪体制がどのようになっているのか、公住の場合も委託を受けた業者が入っていると思うが、その辺どうでしょうか。
委員長 11番 今西	10:12 休憩
委員長 11番 今西	10:15 再開
管理課長 松田	・間口処理については、除雪業者等に指導をしている。 除雪するとどうしても左右に山ができてしまうので、その間口処理に関しては、市街地郊外地問わず、指導はしているつもりではあったが、そのようなことがあるようであれば、再度、指導していきたいと思う。 公住の方については、公住の担当から除雪の依頼を受けているのはあくまでも通路部分になるので、公住の駐車場自体については依頼を受けていない。 公住の敷地内については、居住者の方からするものと認識している。 そして、町道の除雪については、車線確保を原則にして除雪はしておりますが、降雪が多くなるとどうしても1車線しかできない場合もありますが、通常は車線確保ということ

## 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

		で除雪は実施している。
委員長	11番 今西	・福祉部の方から福祉関連の除雪の依頼があると思うが、依頼内容の説明を。
管理課長	松田	・福祉部の方からは、要保護世帯の除雪ということで、福祉部独自の規程みたいなものがあって、それに当てはまるようであれば、依頼があるということで、本年度は73戸の要保護世帯の除雪を受けている。
		その際に、除雪には優先順位がありますので、町道が終わった後に要保護世帯に入るので、福祉部の方にも伝えてはいるが、必ず町道が終わった後でもよろしければ除雪をしますよという、約束のもとやっている。
委員長	11番 今西	・ということは、要保護世帯の住宅であっても、公住に入っている1人住まいとかそういうあくまでも私道という認識で対応するということが。
管理課長	松田	・あくまでも依頼を受けているのは、道路からその住宅までの私道部分。
委員長	11番 今西	・例えば町営住宅とか、あるいはそういう住宅でもその人達が入っている周辺は全部私道扱いということか。
管理課長	松田	・公営住宅に入っている方については、公営住宅の方から依頼を受けた構内道路のみしかやっていない。
建設水道部長	伊藤	・公営住宅は、基本的には個人が使われる駐車場ですとかそういうものについては、個人でやっていただくということで整理させていただいている。
委員長	11番 今西	・旧公民館のような使わない公共施設の除雪はしないということでもいいか。
管理課長	松田	・依頼が来ていないのであれば、やらない。
委員長	11番 今西	・教育委員会が要望して初めて計画するというで理解していいか。
管理課長	松田	・そのとおり。
委員長	11番 今西	・ということは、依頼がないということですね。
管理課長	松田	・今年度については依頼がありませんので、今のところやる予定はありません。
委員	5番 貞宗	・教育委員会に関係するのかわからないが、学校の吹雪とかで1時間遅れとか2時間遅れ、そういう時の除雪体制というのは、1回は入るのか。
		学校は1時間遅れても先生方は定時の時間に来るので、とりあえず1回は開けて欲しいと話したんですけども、その辺は。
管理課長	松田	・除雪の路線の優先順位としては、バス路線とか病院とかそういうものが優先順位では1番最初にやるんですけど、バス路線はあくまでも学校までの路線ということで、先生方が停める駐車場については、あくまでも公共施設的な扱いとして最後になってしまう。
委員	5番 貞宗	・門から学校の前までは入らないのか。
管理課長	松田	・門からスクールバスが旋回するところまではやっているという認識ではいた。
委員	5番 貞宗	・今年はそのがなくて教育委員会の方に連絡したと思う。
		先生方は定時に来るので、入るだけ入れればいけども、入り口も空いてなかったという話があったので、それで教育委員会に除雪の方に言ってくださいという話をした。
		だから、その辺は教育委員会がきちんとその辺も除雪の方に説明しているのかどうなのかというの、きちんと校長会議でもいから話し合いしたらって話をした。
		あくまでも道路課の方は、指示がない限りは入らないってなっているから、それはそういうのはきちんとやっぱり教育委員会からもきちんと指示があればやると思うんですけども。
		その辺の食い違いがあるのかなって思うが。
管理課長	松田	・学校に限っては、教育委員会の担当が管理課の方に、翌日の除雪体制や当日も朝早く電話連絡等いただいて、除雪の進行具合について確認の連絡はもらっている。
		それに対して、当課としては、朝5時に全車出しているとか、出しているけど天候状況によってなかなか思うように進んでない状況だとかスムーズにいつているとか、そういう連

# 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

	絡体制は、教育委員会の方と密に連絡はとっている。
委員長 11番 今西	・他に質疑あるか。
委員 一同	・質疑なし
委員長 11番 今西	(2)上下水道事業の経営等について
上下水道課長 千葉	・資料により説明。 配水管整備事業は、市街地までの住宅戸数の増加傾向により配水管不足や口径不足による水量不足も発生している状況であるため、配水管の新設、増設及び管網化により安定した水道用水供給を図るための事業。 今年度は改修工事を4路線、新設工事業4路線、移設工事1路線、改修実施計画事業1件。
委員長 11番 今西	質疑
委員 4番 伊勢	・家や工場で、水圧の不安定があるので、水道管を大きくしたりとかそういう構想はないのか。
上下水道課技術長 袴田	・尾岱沼地区については16号配水管改修工事をしていまして、これは再来年に繋がる予定で、水圧不足を解消する予定。
委員 5番 貞宗	・本管から引き込んでいる給水管を太くするためには、事業でやるのか、個人負担なのか。
上下水道課技術長 袴田	・個人負担となる。
委員長 11番 今西	・他に質疑あるか。
委員 一同	・質疑なし
委員長 11番 今西	議事2 その他
建設水道部次長 外石	(1) 行政代執行の状況について ・資料により説明 工期は、10月24日から12月25日、契約金額364万1,000円。 10月27日に上春別地区連合会へ説明し、11月6日午前9時30分に行政代執行開始宣言を行い、工事着手。
委員長 11番 今西	・報告内容で、確認したいことなどあるか。
委員 一同	・なし
委員長 11番 今西	建設水道部 10:42 終了 休憩
産業振興部長 佐々木	10:50再開 委員長挨拶 【産業振興部所管事務調査】
委員長 11番 今西	挨拶及び概要説明
商工観光課長 田畑	議事1 所管事務調査について (3)観光振興対策について ・地域おこし協力隊について先に説明させていただく。 地域おこし協力隊の人数については、現在1名の任用。 この隊員の主な活動内容は、別海町観光協会の事務として、別海町氷平線を初めとしたツアープロモーション活動など、別海町の魅力ある観光メニューを企画発信する活動をしている。 業務の詳細については、観光情報の収集発信、インバウンド観光の推進、近隣地域との広域連携による観光推進。 課題としては、協力隊自身が活動を行っている中で、やりたいこととやれることに差異があること、また、本人のやりたいことが必ずしも担当課や観光協会で思っているやっしてほしいこととマッチングしないことがあげられる。

## 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>協力隊の今後の予定は、令和6年4月1日採用予定で2名を募集しようと考えている。</p> <p>募集予定の隊員の活動内容については、町内観光交流施設の指定管理者である株式会社別海町観光開発公社に勤務していただき、4月から11月いっぱいまでは別海、尾岱沼それぞれのキャンプ場の管理運営業務に当たっていただき、12月1日から3月31日は、野付半島ネイチャーセンターの管理運営業務をしていただきたいと思います。</p>
<p>委員長 11番 今西</p>	<p>質疑</p>
<p>委員 12番 松原</p>	<p>・地域めぐり懇談会に、協力隊の人が3人来ただけど、全く別海町のこと知らないという人だった。</p>
	<p>ホタテはどこで食べられるのかとかそういう店はあるのかとか。</p> <p>いつ別海町に来たのかは聞かなかったけども、もう少し地域めぐり懇談会でいろんな住民の方から意見をいただき、我々も協力隊の人というのは、もっともっと勉強して、我々が知らないようなことでも協力隊の人はいろいろ発信してくれるんだと思ったけども、残念ながら。</p> <p>協力隊というのはいつから来ているのか。</p>
<p>産業振興部長 佐々木</p>	<p>・どなたが出席されたのか把握はしていないが、現在、役場の中に結構な数の協力隊は入っている。</p>
	<p>特に総合政策課については結構な人数が入っているので、恐らくその方が行ったのかなと思うが、恐らくここ1、2年の方ではなかろうかと思う。</p> <p>ただ、せっかく別海町に地域おこし協力隊ということで来ていただいているので、別海町のことは勉強しているんなことを発信していただきたいなという思いはありますけども、そういった意味では、そういった指導とか、そういったものが必要なのかなというふうには思う。</p>
<p>委員 5番 貞宗</p>	<p>・協力隊について、別海町全体で13名くらいいると思うが、受け入れする部署によっては違うだろうけども、やっぱり別海町というのはどういうものかについていうことは、やっぱり入った時点で、教育する必要性はないのか。</p>
	<p>・募集して応募してくるので、少なからず別海町のことにはある程度、理解しているのかなというふうに思いますけれども、ただ、募集の仕方によっては、ちょっと違って来るのかとは思。</p> <p>また、観光分野だったら、別海町はこういう観光あるからぜひやりたいとかであれば、ある程度知っているだろうけども、やはりそういう方もいらっしゃるかと思う。</p>
<p>委員長 11番 今西</p>	<p>・産業としてはどういう形で受け入れて、どういう対応して、仕事をしてもらってことを説明してほしい。</p>
	<p>・現在いる1名は、募集の段階から観光協会の事務職員として赴任してくださいということで来ているので、観光の興味ある方、観光に詳しい方ということで、今の隊員は日本旅行に勤めていた方。</p> <p>観光協会ですから、別海町内の観光資源や観光振興策というものについては、御自身で勉強されたと思う。</p> <p>あとは、当時の会長、副会長もおりましたので、そちらの方との会議の中で、別海町がこれから進めていきたい観光についても、情報を共有していると思いますし、勉強されたと思う。</p>
<p>委員長 11番 今西</p>	<p>・先ほど課題として取り上げた部分と関連するが、今は観光協会の事務局に限定だが、それにしても別海町の状況、その部署に努める観光協会の役員さんばかりじゃなくて、受け入れる行政としても、やっぱり、別海町のことをある程度、PRしたりとかそういうこと</p>

# 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>もする必要があるのかなということで、あくまでも観光協会の事務局だからそれだけです よっていう中でのやりとりとかその辺もう一度確認したい。</p> <p>・地域おこし協力隊としてこられる方というのは、特段、別海町のことを知りたいとかって いうことではないです。</p> <p>業務として、観光協会の事務局として、先ほど言いましたとおり、観光情報の収集と 発信をしてくださいよと。</p> <p>インバウンドの観光の推進をしてください、近隣地域との連携をしてくださいということで、 観光に特化して募集していますので、どこか対外的に別海町のことを教える時には、牛 が何頭いますとか言うふうにしてますけど、職員のような初任者研修みたいな職員として の育成というか教育っていうのはしてない。</p> <p>あくまでも、本当にやっていただきたいことをやっていただくという形なので、それ以外の 行政全般にかかわること、別海町全般というようなことっていうのは、本人の興味がわいた 部分は教えられますが、全てその職員のような教育はしていない。</p>
商工観光課長 田畑	
委員長 11番 今西	<p>・先程の説明で、マッチングがずれてやりたいことというのは、こっちの方から観光協会の 事務局だよという所管からの要望だけど、来る相手がこういうことをしたいということでは なくて、それをわかりましたってこういうやりとりの結果だったというふうに受けとめていい か。</p>
商工観光課長 田畑	<p>・商工観光課にいる協力隊に限らないが、協力隊を募集するのでハローワークですとか いろいろ人材募集のインターネットを通してですとか、会社に依頼でやるんですけども、 結果、別海町に来ました、別海町に来た人が観光でこちらは呼び寄せただけですけども、 実は農家のことをやりたいとか。</p> <p>もちろん、何をやってもいいよっていうような募集の仕方はしていない。</p> <p>今は総合政策の方で委託型とかっていう大まかにこういうことをやってくださいとか、こ うことをお願いしますというふうにして、協力隊本人に自由度を持たせて、協力隊本人 ができることをやってもらうというような委託型っていうのが、去年ぐらいから増えましたけ れども、僕らが募集した時は、観光協会のことをやってください、別海町のPRやってくだ さい、知床根室観光連盟と協力して、国内外に情報発信してくださいということをしたん ですけれども、今までの協力隊もそうですけども、やりたいことっていうのは、募集した内容 と違う。こちらがやってほしいこととちよっと違うことを提案されてくるんですけども、そこは所 管外だよなっていうことは多々あるということ。</p> <p>後は、本人の能力的にも、できることとできないことというのがあって、こちらがある程度 のレベルの人を入れたつもりで、ある程度のレベルのことをオーダーしたとしても、そこま でのレベルに達していないという、協力隊本人のスキルですとかっていうのがあるということ。</p>
委員 4番 伊勢	<p>・今の1名がそういう対象なのか。</p>
商工観光課長 田畑	<p>・今までいた商工観光課に入れた協力隊。</p>
委員 4番 伊勢	<p>・2名か3名増やしたいと言っていたが、何年ぐらいの予定で募集する気なのか。</p>
商工観光課長 田畑	<p>・基本3年になっている。</p> <p>ただ、令和2年から4年までの間、コロナ禍で思ったような活動ができなかった場合に ついては、2年間の延長ができるということで、現在、観光協会に任命している1名につ いては、本当であれば令和6年3月31日をもって任期満了ですが、9月30日まで延 長かけさせてくださいということで、延長する予定。</p>
委員 4番 伊勢	<p>・コロナ禍あったから、なかなか観光事業は難しかったと思うんだけど、これからインバ ウンドがきて、オーバーツーリズム等ね、別海町もそれぐらいの問題点が出ればうれしい 悲鳴なんだけれども、そこまでもいかない段階だと思うし、これから隊員を増やしていくこ</p>

## 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>とも大いに結構だと思うけれども、言われたとおりミスマッチがあるわけですね。</p> <p>だから、これからも含めて協力隊の人達と我々と討議させてもらって、町のことをもっと勉強してとか、いろんなこういう観点から観光をやるともっとおもしろいよとか、協力隊の人達との議論の場を設けられるように、チャンスを作ってほしいなと思う。</p>
<p>委員長 11番 今西</p>	<p>・議会としても、委員会としても協力隊員と交流を深めていきたいという希望があるので、これからについて考えてほしいという要望です。</p>
<p>委員 12番 松原</p>	<p>・観光協会に事務職員として入って、協力隊として別海町のPRする感が町民に見えるような、あるいはほかの町以外のところに見えるような仕事って我々はあまり気づかない。</p>
	<p>だから、ただ事務とか仕事をしているのはいいけれども、やはり協力隊っていうその一つ一つの看板を背負ってきているわけだから、普通の役場の職員とまた違うと思う。</p> <p>そういう点では、役場の職員よりも積極的に町を歩いたりいろんなところに聞きに入ったりして、やっぱり自分で身につけなければならぬし、それを発信してもらいたい。</p> <p>それが協力隊の役割だと思っているが、今は何も見えないので、実際は10何人もいるというけどもどういう仕事されているのかいつも疑心暗鬼に思っていた。</p>
<p>商工観光課長 田畑</p>	<p>・商工観光課だけに限らず、産業振興部にいる協力隊は意外とメディアとか新聞媒体とかSNSで積極的に活動していて、比較的町民の方々には産業振興部に派遣されている協力隊が何やっているのかっていうのは、認知されているだろうと個人的には思っている。</p>
	<p>商工観光課にいる人については、SNSですとか新聞媒体に比較的でいた方ですし、町民の方に何をやっているというのはPRをできていると考えている。</p>
<p>委員 4番 伊勢</p>	<p>・行政サイドはそう思っているかもしれないが、自分は知らない。</p>
	<p>SNSにも出てるしとかいうけど、町民には知られていない。</p> <p>だから、やっぱり広報の仕方とかがまだまだなんですよ。</p> <p>タイムリーにSNSとかそういうものをやるという効果は表れるので、もっと広報すべきだと思う。</p> <p>そうしないと、我々議員ですら、だれが協力隊なのかわからない。</p> <p>だから、議論の場を設けてくれとかいうのは我々の意見ね。</p>
<p>産業振興部長 佐々木</p>	<p>・各部署には協力隊が結構いらっちゃって、課長が申し上げたのは、産業振興部に配属されている協力隊については、他の部署に比べるとSNSとかいろんな媒体使っているはずですけども、現実、知らないということですので、先ほど言ったその議員さんとの交流というのは、うちだけでなく町全体に関わらと思うので、それは協議して、そういった場を作れるのであれば、そういうところについては、検討していきたいなというふうに思っている。</p>
	<p>・ですからこそ、地域めぐり懇談会の時に協力隊の人達が来てくれたわけですね。</p> <p>こちらからすると、こんな人いるんだとかこんな考え方してるんだとかいう議論の場があって、初めて理解できた。</p> <p>だから、やっぱりそういう場はもっともっと地域めぐり懇談会のほかにもこれから進めていかないと、お互いの理解度も深まらないと思うので、機会を設けてほしい。</p>
<p>委員 4番 伊勢</p>	<p>・観光振興対策について次の内容説明をお願いしたい。</p>
	<p>・観光振興対策についての2番目なんですけども、新たな観光メニューの中で、例として歴史や文化などとタイアップするメニューなど、今後の観光資源の考え方についてということで、歴史・文化にとらわれずほかの分野とのタイアップも、現在取り組んでいるものということで、資料により説明する。</p>
<p>委員長 11番 今西</p>	
<p>商工観光課長 田畑</p>	

# 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

委員長 11番 今西

委員 4番 伊勢

質疑

・このアイスマラソンは大賛成。

結構、評判が良かったので、ぜひとも、はくちょう祭に変わる一大イベントに育て上げられるように、それこそ協力隊を活用してもらって、やっぱり外部から来た人間は地元とは違う発想を持っていると思うので、それを推進してほしい。

それと、道の駅の新たな創設及び尾岱沼にある道の駅の充実、これを加えてほしいなという思い。

我々の議員の中でも、もう一つ道の駅を別なところに作ってはいかかかなという意見もちょっと耳にしているし、尾岱沼の道の駅と二分しちゃう可能性もあるが、観光振興の中で話してほしい。

それともう1点は、とにかく我々も頑張るけれども、行政も頑張って、とにかくチェーン店のホテルを建ててもらいたい。

町でホテルを建てるのではなく、ドミーインとかアパとか日本全国展開している事業者にアクセスして、別海町の町の中に建ててもらえるようにできないか。

商工観光課長 田畑

・道の駅についてですが、奥行臼駅通史跡公園のところに文部科学省の方から道の駅をつくって集客をして、奥行臼史跡公園に客を呼び込む方法がいいんじゃないかという話もあったんですけども、道の駅おだいの売店も観光開発公社から立地もよくないので、売店をやめたいという話もあり、人を調理とかで張りつけるんだけど、それほどの魅力ある道の駅ではなくて集客力もないと。

そんな話がありながら、奥行臼駅通の方で、教育委員会の基本計画としても道の駅にして集客をして、裏の奥行臼史跡公園に呼ぶというふうな形の青焼きがあったんですけども、史跡公園にかかるお金より、道の駅を造るお金の方が多くなり過ぎて、非現実的と。

教育委員会としてどうしたいのか聞いたら、やっぱり保存だと。

であれば、インシャルコストもすぐ道の駅に引っ張られていて、教育委員会の方としても、道の駅を造って史跡公園に人を呼ぶという建前で、道の駅にレストランを造ります、売店を造りますっていう青焼きがあったんですけども、史跡公園を造りたいのか道の駅を造りたいのかわからないような検討になってしまった。

奥行臼に道の駅を造ってレストランと物販店を造っていくものの、その経済活動っていうのは行政はできませんから、商工会から要望が来ている物産館を造ってくれていうものとマッチングができるかということで商工会に確認したところ、奥行臼の所に物産館はいらぬということ、ちょっと保存と史跡そのものの集客があったことによって、飲食店を出そうかなっていう事業者があらわれたり、売店を出そうかなという事業者があらわれればいいんですけども、箱を造って商工業者にお願ひしますというのは、ちょっと非現実的かなと思って、道の駅構想というのは、先ほど言った史跡公園検討会議とかでちょっとよかしておこうと。

商機があらわれて、事業者があらわれたら、増設という形で道の駅にしてもいいんじゃないかということで検討段階ですね。

去年、一昨年ぐらいに、しまふくろうのところに道の駅を造ったらいいんじゃないかということで提案もいただいておまして、あそこが日本でも数少ない国道が交わる交差点ですから、今すぐどうのこうのというよりは、交通量もありますので、道の駅を造るとすれば現実的なんだろうと思いますけれども、やはりそこでもですね、各市街地というか集落から離れた場所にあるもんですから、よっぽど商機があるということで、例えばレストランテナントを5戸造ったとしても、5戸が埋まるかどうかというのは、どこの商工業者も家族経

## 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>営でやられていて、従業員をそこに回すほどの雇用をしていないものですから、市街地から離れた所ということのリスクっていうものは高いと考えている。</p> <p>ホテルチェーンの誘致については、非常に有用だとは思っている。</p> <p>行政で運営するホテルはあり得ないので、どこか有名チェーン店に誘致に行って、参画していただければとは思っていますので、今後、検討材料の一つとさせていただきたいと思う。</p>
<p>委員 12番 松原</p>	<p>・公園とかそういういろんな施設は別海町は多い方だと思うが、残念なのは、食と合わせたものってほとんどない。</p>
	<p>やっぱり、別海町に来たら食も味わえるっていうものがなければ、食べ物がないわけだめなんで、町の要するに名産といいますか、その産地でとれたもの、作られたものがあるような、そういう物産展兼ねてのものが。</p> <p>以前、ぷらとを改修して物産展を造るという話があったが断ち切れたのか、それともそういう事が可能なのか。</p>
<p>産業振興部長 佐々木</p>	<p>・物産館がなくなったっていう話ではなくて、商工会の方からも物産館を建設してくれという要望はあるが、建てた後の管理運営について、そういったことを含めると、なかなか早急には難しいのかなと思うが、こういったものがクリアできれば、物産館ができるというのはそれほど問題ではないのかなというふうには考えている。</p>
	<p>・奥行の話をしてしたが、地元の人手さえ行かないところに、それだけの必要性があるのか。</p>
<p>委員 5番 貞宗</p>	<p>それであれば、別海町の町の中にそういう既存のものを持ってきて展示をすとかがいんじゃないかな。</p>
	<p>本町の中にそういう文化を持つことで、食とつながりができてくると思う。</p> <p>それと、しまふくろうについては、これから高規格が上春の方から始まる。</p> <p>道の駅とかについては、過去に、あの辺に何かをつくらうという町の方からの提案はなかったか。</p> <p>本町から離れているので、その辺の問題もあるかもしれないけども、国道の交差点といいいこともあり、交通量も多いので、町としてもそういう有効な場所を考えていかないとならないのかなと思う。</p>
<p>商工観光課長 田畑</p>	<p>・奥行臼史跡公園については、所管は教育委員会で、それぞれの時代背景とともに使っていた軌道が違うところの3世代の軌道を保存するということですので、現段階としては道の駅を造るっていうことは、まずないのかなというふうには考えている。</p>
	<p>あと、道の駅を今後造るとなった時には、必ずしまふくろうの国道が交わる場所は候補地に必ずあがると思う。</p> <p>ただ、先ほど言ったとおり、これから人口が減ってきて、商工業者の後継者不足ですとか労働者不足というのは、駅前地区であれば駅前に店舗を持ちながらしまふくろうのところに支店をつくらうということではなかなか考えられないのかと思う。</p> <p>その辺もひっくるめて、検討材料として考えていきたい。</p>
<p>委員 5番 貞宗</p>	<p>・国道の話もしたが、観光の問題もあると思う。</p>
	<p>どこを観光にするか。</p> <p>これはね、やっぱり昔からあった研修牧場を観光牧場にしたいんじゃないかという構想もあったらしくて、それは実現していないですけども、そういうのを利用しながらやったらどうかと思う。</p>
<p>委員長 11番 今西</p>	<p>・今ずっと聞いたら、点で議論なんだよね、別海町の観光って。</p>
	<p>やっぱり、これを線で結ぶっていう発想に立って、それぞれの地域にあるものを線で結ん</p>

## 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>だ別海町の観光っていうことはこれから考えるべきだと思うのね。</p> <p>奥行の駅通は、定期的にどれだけの人は来るかも分かんないのってそういう発想から抜け出して、町全体を観光で結ぶっていうそういう考え方の中で、奥行の駅通をどのように取り入れていか。</p> <p>そういう議論をしていかなかったら、いつまでたっても同じことの繰り返しになる。</p> <p>これから、そういう観点に立った議論をして、人口が減ってという大きな課題もあるけど、そういうことで町の観光ということをしかりと土台作りというか、していくべきだと思う。</p>
委員長 11番 今西	・他に質疑あるか。
委員 一同	・質疑なし
委員長 11番 今西	(4) 酪農研修牧場について
農政課主査 西郷	・研修牧場の経過について、資料により説明
委員長 11番 今西	質疑
委員 5番 貞宗	<p>・資金面の件だが、このように負債が増えたということは、学校ですから、あくまでも利益を出す部署ではないと思う。ある程度は運営の中で補ってやらなければならないが、学生を育てるっていうことは、やはりそれなりの覚悟で町はやっていたと思う。</p> <p>ですけれども、その単年度に出た赤字分が、なぜ議会にかけないで、補正予算でも組んでももらえなかったのか不思議である。</p> <p>あくまでも農協に任せたいのか、それとも町が本当にやりたいのか、その辺を聞かせて欲しい。</p>
農政課長 皆川	<p>・資金の関係ですけれども、先ほど言った、学校という部分っていう形になろうかなと思いますが、研修部門と酪農部門の二つで、酪農部門は牛乳絞りますので、そちらの方の赤字はほとんどないのかなと思うが、やっぱり研修にかかる部分については、明らかに赤字が増えてきたというような状況になっていた。</p> <p>補正予算という話もありましたが、まず会社の中で短期融資なり、中期融資なりの融資を受けながら経営を続けていくという流れになっていたかと思う。</p> <p>今回の経過の中で説明したが、それではもう立ち行かないんでないかということになり、そういう負債を整理するという中で、今回、予算化した状況になっている。</p>
産業振興部長 佐々木	<p>・運営については、有限会社研修牧場っていう会社が運営しているので、資金を借り入れて運営していたが、それだけじゃ立ち行かなくなったということで、株主さんの協議の中で、これは1回整理しましょうと。</p> <p>ただ、整理するのではなくて、運営も第2実践牧場をやめて、第1実践牧場だけで研修を進めていこうっていう経過があったもんですから、単年度、単年度での支援はできたのかもしれませんが、あくまでも運営会社は、研修牧場っていう会社ですので、そういう手法を取ったという経過。</p>
委員 5番 貞宗	<p>・運営の方だが、牛乳絞っているのも当然、給料も払いながら経費も出ますけども、やっぱり乳業興社と研修牧場は同じ会社。</p> <p>それでは、研修牧場はこうなるから乳価上げてくださってと言っても、同じ会社だったら上げようがない。</p> <p>その辺の考えをね、今、第2牧場はなくしたけども、やっぱり第1牧場にしても、一部ですから400tぐらいしか目標立てないと思うんですけども、やはりそれなりの乳価にしないと運営はできない。</p> <p>第1牧場だけでもおそらく赤字になると思う。</p>
委員長 11番 今西	・経営の内容については、町の事務事業ではないので、違う観点から質疑願いたい。
委員 5番 貞宗	・第2牧場をなくしたのはわかる。

# 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

	<p>確かに研修生もいない。                  研修生が減ったというのは、考えたことはあるのか。                  実際聞いたら、研修生同士が教え合って、やっぱりそこでトラブルがある。                  指導員がいるけれども、研修生同士でやるからトラブルが増えて、途中でやめた人が、あの研修牧場はだめだとネット上に乗せる。                  実際、今年の4月に入る人もやっぱりそういうのを見て、勉強ならないということで中春別に行っているらしい。                  協力隊の人は一生懸命やっているんで、行政ももっとこまめに手助けをして、いろんなPRしてくれてるんだから、もっと活用をしてやっていかないとならない。                  今は、選ぶ権利は来る人にあるので、その辺でそうなのか。</p>
農政課長 皆川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員言われたとおり、ネットの活用、協力隊の活躍と私たちのやりたいことというか、情報発信していくことは非常に大切なことだと思いますので、それらを活用しながら今後も続けていきたいと考えている。</li> </ul>
委員 5番 貞宗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域めぐり懇談会に、中西別地区の方から何で研修牧場は低コストの放牧をしないんだという意見が多かった。                      青い草の上に牛が出ているのが有名で、テレビなんか全国放送してて、それに憧れてくる人もいるので、やっぱりこれからは、少しでもいいからそういうのも取り入れながら研修をしていかないと、研修牧場に来た人が全然違うんじゃないという思いもあるんで、それらをなくすためにその辺の計画を研修牧場の指導員とか行政、運営委員等も加えて検討していただければと思う。</li> </ul>
農政課長 皆川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、フリストールも廃止されましたので、そういう放牧だとか、またもうちょっと運営と研修の兼ね合いもあると思いますので、研修牧場と協力しながら検討を進めていきたい。</li> </ul>
委員 5番 貞宗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修期間は3年間だが、妊娠・出産等で1年間くらい休んだ結果、研修期間が短くなったことで、実際に就農した時にギャップが出て、病気になったり作業ができない状況になってしまうことが過去にあったので、期間を延ばすなどして、なるべく顕密に研修を受けさせるようにした方がいいのではないか。</li> </ul>
産業振興部長 佐々木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は3年ですけども、例えば妊娠されて1年間研修できなかった人が4年できるようにならないかということだと思うが、そこら辺は協議してというか、2年しか研修していないけどいけますよっていうのは別ですが、それについては研修生と協議しながら臨機応変に対応できればなというふうには考えている。</li> </ul>
委員長 11番 今西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件については、継続調査として本日の質疑は終了する。</li> </ul>
委員長 11番 今西	<p>議事2 その他</p>
水産みどり課長 小野	<p>(1)水産系副産物再資源化施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堆積しているホタテウロの仕掛品は、計画で963t処理する予定だったが、処理業者の方から水分量の低減が上手くできず予定通り進捗が進まなかったとの報告があったため、463t減少の500tに下方修正させていただいた。                      また、仕掛品の処理については、焼却以外の処分方法を検討してきたところですが、仕掛品を再処理し再資源化する研究並びに検証が終わり、これの実用化の目途がいたので、令和6年度からは焼却以外の処理についても実施したいと考えている。                      なお、今年度に処分できなかった分については、来年度に上乘せして処理をして、当初予定どおり令和7年度には完了させたいと考えている。</li> </ul> <p>(2)秋サケ漁の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月21日をもって今期の漁が全て終了した。                      漁獲量並びに漁獲金額は、回復の兆しが見えていた昨年を大きく下回る状況となっ</li> </ul>

## 令和5年第10回産業建設常任委員会 要点記録

ている。

今期は、記録的な不漁となった令和2年、3年を上回ったもの、高漁が続いていた平成20年代と比べますと、依然として低水準の状況にある。

町としては、漁業者の負担を軽減するため、管内のサケマス増協の漁獲高割負担金収入の増額分ですね、1.2%増となっているんですけども、こちらを令和4年度から負担を軽減することを目的に3年間支援をすることとして予算を措置しておりますが、漁家経営は更に厳しさを増している状況から、今般、別海、野付両漁協から支援の要請があった。

町としても、依然として厳しい漁業者の状況を鑑み、更なる追加支援が必要であると判断した。

この追加支援については、令和4年度においても実施しておりますけれども、昨年来からの漁業資材、燃料費高騰に加えて、今年度については、アルプス処理水放出を受けての中国による輸出規制の漁家への影響など、こういったことも考慮しながら漁家経営の安定のため、令和4年度以上の追加支援を行いたいと考えているので、御理解をいただければと思う。

委員長 11番 今西

閉会挨拶

委員長 11番 今西

12:16 閉会